

菊栽培教室 小菊盆栽の部 H29年8月9日(水)

8月の作業

◎本摘芯

- 8月中旬から下旬に着蕾をそろえるため本摘芯を行います。
(予備摘芯後20日位経過しているのが理想です)
- 各芽先は相当に伸びていますが、短い芽も全て二葉で切ります。
- 菊の習性上、草勢の強い枝先と下枝の元の方とは7日位の開花の差がありますから、弱い部分は早く摘んで早く咲かせるようにします。
- 本摘芯を済ませて1週間後にビーナイン300倍、その後は10日ごとに2回散布します。

◎シェード

- シェードは一斉に開花させるため、8月20日頃より9月15日頃まで行います。
- 午後5時から翌日の8時まで毎日暗闇の中へ入れます。
着蕾の状況を確認してからやめます。

◎肥料

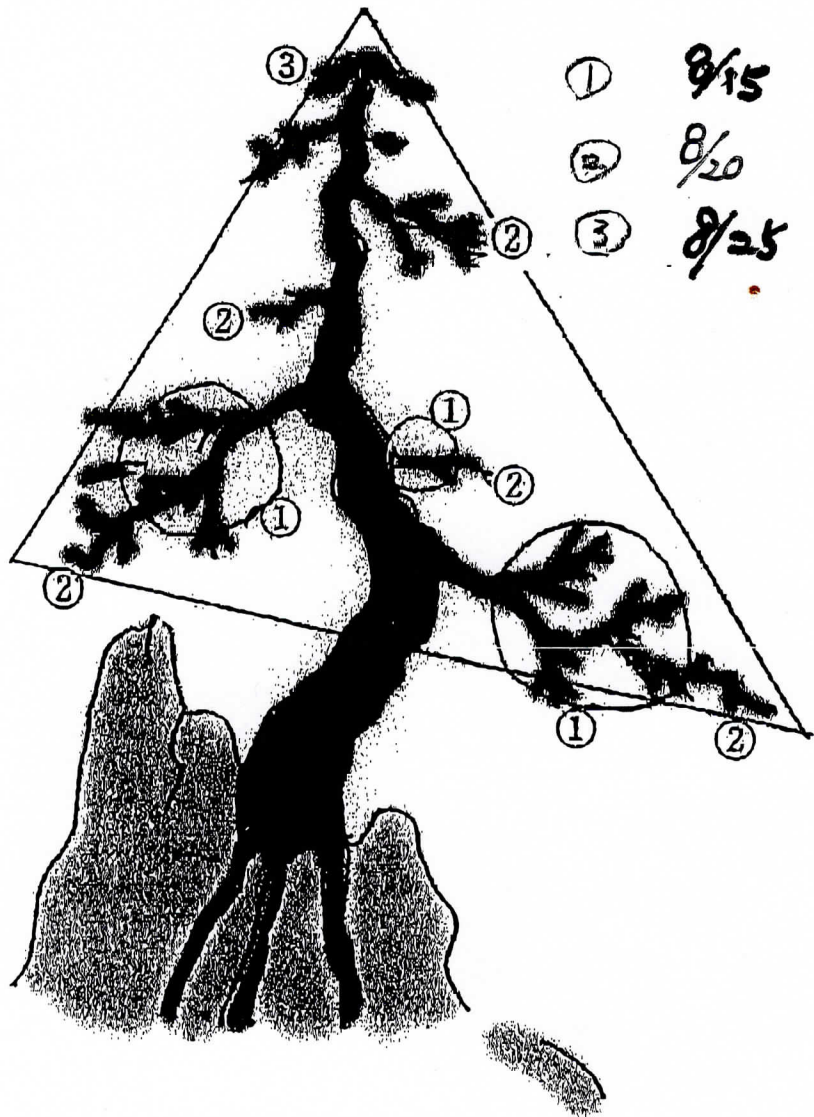
- 乾燥肥料は8月に入ればやりません。
- 1週間ごとに大菊液肥PK+活力キング1000倍の液肥を与えます。(筒入苗も同様)

◎植え替え、水やり、消毒等は7月の資料を参考にして下さい。

◎筒入れ苗の管理

- 下葉は取り除き日が良く当たるようにし、20日ごとに筒まわしして下さい。

本摘芯



図ー4 樹形と本摘芯

■ 本摘芯後の管理ポイント

枝の厚みを薄くし樹形を保つためには、本摘芯以後の管理が大事で、以下のような注意をします。

①本摘芯7日後にビーナイン 300 倍液を噴霧します。

②間延びしないように、乾燥気味で管理します。

・ 灌水は午前中に実施する。状況によってはその日の灌水をとばす。

・ 雨、夜霧、朝露には絶対に当てない。

来年作品用苗の管理

◎筒入れと育苗管理

○時期：6月上旬～7月下旬

○植付筒：直径6cm位の塩ビ管

○培養土：赤玉土 小粒3、日向土 小粒4、腐葉土 細粒2、くんたん1（1ミリ網目のフルイで粉粒を除く）

○植付は次の要領で行って下さい。

- ・4号鉢の鉢底に網をしいて、粗砂を入れて立てる。
- ・用土をパイプに入れ、側面をたたいて隙間が無い様用土を詰める。
- ・パイプ上部に根受けを取り付け苗をまたがせて用土をパイプ上部まで詰める。
- ・通気性、排水が良くなるように4号鉢の底穴に網を敷いて、やや粗い川砂を入れてパイプを立てて固定する。

○管理

- ・筒植え直後から9月初旬までは遮光する等して暑さ対策を行って下さい。以後12月初めまでは十分に日に当てる。12月初めから2月末までハウス内で管理し、3月初めには通常の栽培場所に出し、外の環境に慣らしていきます。
- ・肥料は、大菊液肥PK+キングの1000倍の液肥のみで1週間おきに与えます。
2月位までこの液肥が灌水代りになります。
2月以降は、良く乾くようになるまでは、灌水は3日毎に鉢そこから出るまで与えて下さい。
新芽が多く出ている場合は、2月頃1～2本に整理して下さい。